

狭山池シンポジウム2018（第9回）

○開催日

2018年11月17日

○テーマ

史跡 狭山池とともに

○内 容

第9回を迎える今回のシンポジウムでは、「史跡狭山池保存活用計画」の策定を記念して、文化財としての「池」の保存と活用の先進事例を紹介していただきました。

また、パネルディスカッションでは、狭山池をどのようにして私たちのまちの文化遺産として守り、活用していくかについて考えました。

○パネリスト報告等

「市街地の中の国登録記念物 大濠公園」 正田実知彦氏

(福岡県人づくり県民生活部文化振興課主任技師)

「史跡・名勝南湖公園の保存と活用」 鈴木功氏(白河市建設部理事兼部次長)

○パネルディスカッション

◇コーディネーター

金田章裕氏(京都府公立大学法人理事長、京都府立京都学・歴彩館館長)

◇パネリスト

正田実知彦氏(福岡県人づくり県民生活部文化振興課主任技師)

鈴木功氏(白河市建設部理事兼部次長)

佐伯順子氏(同志社大学教授)

中西裕見子氏(大阪府教育庁文化財保護課文化財企画グループ長)



コーディネーター 金田先生



パネルディスカッション風景